

「小児期からの成人病予防に関する研究」

(分担研究：コーホート調査実施の基礎的検討)

国立療養所三重病院

神谷 齊、増田英成

要旨：三重県安芸郡河芸町に在住する小学1年生総数244名のCohort集団を設定した。本年度はCohort作成に至る過程を報告し、今後の追跡調査、介入の方法について言及した。

見出し語：小児成人病，肥満，皮脂厚

対象及び方法

三重県安芸郡河芸町（人口17141名、1991年6月1日現在）に在住する小学校1年生児童総数244名に対し、小児期からの小児成人病予防のための研究班Field workの1施設としてのCohortを設定した。また、同時に小学2年生以上中学3年生1856名の児童、生徒に対して、Back Ground 調査のControlとしてアンケート調査、身長、体重を調査するものとした。調査は初回調査として、1992年4月に対象全員に対して以下の如く行なう。

- 1)研究班共同アンケート調査用紙（生活習慣、食習慣、家族歴）を用い、対象者の背景分析を行なう。
- 2)身長、体重、血圧検査は学校検診に組み入れて施行する。
- 3)Cohort集団として設定した小学1年生に対しては血液生化学(T-choI,LDL,VLDL,HDLC,TG,NEFA,UA),一般検血(RBC,Hb,Ht,WBC),一般検尿(尿糖を含む)、皮脂厚測定(エコー)を行なうものとした。

4)追跡期間

追跡調査は9年間とし、この間、小学4年、中学1年、中学3年の、各学年で4回のアンケート調査の他、血液検査を含めた初回と同内容の検査を同時に行なうこととした。

5)役割分担として、

a)河芸町保健センター（町の健康管理に関する出先機関）は三重病院と協力して、対象小中学校への調査協力依頼をする他、調査結果を町に還元をする。

b)学校長、養護教諭はアンケートの配布、回収のあたるものとした。

c)三重病院は学校検診時の協力の他、定期的に対象児、家族に対して、小児成人病講演会（仮称）等の健康教育活動の援助を行なうこととした。調査結果は三重病院が主体となり学校医と協力をして分析を行なう事とした。

6)調査開始時期

小学1年生（平成4年度）

小学2～中学3年生（平成4年）とする。

7)介入方法

個別介入は調査結果より得られたデータから、学校医が三重病院と協力し、異常値を示す個人、家族に対して治療及び指導を行なう。また、学校での指導は養護教諭が中心となり継続する。

集団介入は定期的に健康教室(仮称)を開催し、

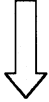
啓蒙活動を行なってゆく。本研究班の調査結果は町と協力しながら町民に還元してゆく。

8)家族に対するImformed Consent

1992年4月-5月の時期で、対象家族の対して、調査主旨の説明、追跡調査への協力を依頼し、協力を得る。

説明に際し当研究の目的及び意義を説明した「御願い」を配付する予定である。

現在までに河芸町町長、同保健センター所長、及び保健婦との話し合い、河芸町教育長への説明を終了した。学校医、学校長、養護教諭の同意も得られ、ほぼ予定通り進行中である。

 **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用 
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

要旨:三重県安芸郡河芸町に在住する小学1年生総数244名のCohort集団を設定した。本年度はCohort作成に至る過程を報告し、今後の追跡調査・介入の方法について言及した。